

問診だけで「加齢」測定

村田機械子会社と同大 簡易システム開発

村田機械グループの病院向け搬送機器メーカー、日本シユーター(東京都)は採血などをせずに問診だけでアンチエイジング(抗加齢)の指標を測定する高齢者向け簡易システムを開発した。利用者の健康促進に役立てる。

アンチエイジングは、全身の老化を防ぎ、健康で長生きすることを目指す考え方。開発したシステムは、血管年齢やホルモン年齢など体の老化度と、ストレスなどのリスク因子で評価する。利用者に心身の調子と食生活に関する問診票に記入してもらい、データをパソコンで読み込んで数値を算出する。運動や睡眠の問題点も示す。



開発したシステムではアンチエイジングの指標をまとめたレポートに基づき生活習慣の改善指導を受ける(草津市)

同大アンチエイジングリサーチセンターが集めた約8千人分の医学データを基に、同センターの米井嘉一教授と考案した計算式を65歳以上向けに改変した。

従来システムで行っていた採血が不要になり、介護施設や自治体

での活用が見込めるといふ。12月から日本シユーターが運営する草津市の介護施設で利用する。同社は「手軽な方法で測定し抗加齢のケアを促すことで、高齢者のQOL(生活の質)向上につなげたい」としている。(堀内陽平)